

事業所名: グループホームあすか

作成日: 2022年 11月 7日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の方々とのふれあいの機会として、地域の小学校の運動会などへの参加や小、中学生の体験実習の受け入れ、保育園児との交流などを考えて行きたい。また、感染対策や認知症ケア等について、地域に情報を発信したい。	・地元小中学校の運動会への参加。 ・中学生との年賀状のやりとり。 ・回覧板、公民館の張り出しなどを使った認知症ケア、感染症対策などの情報の発信。	地元中学校との年賀状のやり取りなど、コロナ禍においても地域の方々とのふれあいを今後も大切にしたい。ホームとしてもコロナ禍の感染対策方法や認知症ケア等の情報を通信等に掲載し、回覧板等で回すなど、検討したい。	6ヶ月
2	26	より良いケアプラン作成を目標に、ご本人、ご家族、全職員からの意見を汲み上げる。利用者様の「できること」「できそうなこと」「生活歴」等をより詳細アセスメントし、個々人の個性、特技を反映した役割を与え、生き生きとした生活を送ることができるよう支援していきたい。	・利用者様の「できること」「特技」「生活歴」を更に深く探ることで、それらを反映した役割を与え、張りのある生活を送っていただけるよう支援する。	①センター方式D-1「移動:移乗」にADL個々の能力や要望を追記。 ②D-2「その他」に行動障害と原因、対応を追記。 ③生活歴、認知症の病名、認知症関連の評価等を追記。 ④2表に「ご本人」「家族」を追記。 ⑤日課計画表に「御本人ができること」「留意点」を追記。 ⑥ご本人、家族と話し合う予定である。リハビリ職との連携も検討する。	3ヶ月
3	35	地域の消防団と訓練を行い、地域の防災や災害時の対応などを話し合いたい。地震、水害などの非常時は、施設自体が地域の避難施設になることも考えられ、外部の方のための設備や備蓄内容などの検討を行う予定である。	地元の方々と一緒に災害時の対応について検討する。また、自然災害時の際、地域の皆様の避難場所として機能するために、設備や備蓄を準備する。	運営推進会議等を利用し、施設が地域の方々の避難場所として機能するために必要な設備、備品について、地元消防団、町内会の方々と話し合う。運営推進会議等を利用し、施設が地域の方々の避難場所として機能するために必要な設備、備品について、地元消防団、町内会の方々と話し合う。	3ヶ月

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
4	40	業者の配食サービスを利用するようになってから、以前のように利用者の皆様と一緒に食事を作ることが少なくなってしまう。手作りの日を増やし、一緒に料理を作る機会を増やしたい。	比較的職員の手が空く土日に料理を手作りする日を設け、以前のように利用者様と一緒に料理を手作りする。	食事を手作りする日を増やし、ご利用者に下さらえなどをしていただくとともに、庭のプランターを増やし、野菜作りや花作りをする。	3ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月
7					ヶ月
8					ヶ月
9					ヶ月
10					ヶ月